

第6学年 家庭科学習指導案

1. 日時 平成30年10月26日(木) 2校時

2. 場所 6年生教室

3. 単元名

季節に合わせた過ごし方

4. 単元の目標

- 季節で異なる住まい方や着方に関心を持ち、快適に生活しようとしている。
【関・意・態】
- 洗濯の必要性が分かり、洗濯を工夫してできる。【知・理】【創・工】
- 季節に合わせた住まい方について考えたり、自分なりに工夫したりすることができる。【知・理】【創・工】
- 衣服を清潔に気持ちよく着る方法を考え、季節に合わせた着方が分かる。【知・理】
- 洗濯の仕方に関心を持ち、手順などを調べる。【技能】

5. 評価について

関心・意欲・態度	思考・判断	技能
<ul style="list-style-type: none">・住まい方に関心を持ち、身の回りを快適に整えようとしている。・快適に過ごすために家族で取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none">・季節の変化に合わせた過ごし方を自分で判断することができる。・衣服の主な働きと日常着の快適な着方が分かる。	<ul style="list-style-type: none">・洗濯表示に沿って自分で洗濯をすることができる。

6. 単元について

(1) 児童の実態

6年生の児童は、男子18名、女子15名である。学校生活の過ごし方を見ていると、男子は比較的によく外で遊び、女子は外で遊ぶ児童と、室内で遊ぶ児童とが分かっている。外から帰ってきた児童たちは汗をたくさんかいて戻ってくるのだが、しばらくすると上着を羽織っている姿が見られる。そして、衣服だけの工夫だけでなく、暑い時には児童自ら窓を開けたり、寒い時には窓を閉めている行動が見える。

また、前回の単元「ナップザック作り」では、ミシンの使い方や、裁縫について学習

する時、早く完成した児童がまだ完成していない児童に対し手を貸していたり、先生の説明が理解できていない児童がいたら説明をしてあげていたり、友達に優しく接し協力して学習に参加することができる。

(2) 教材について

家庭科はA 家族・家庭生活、B 衣食住の生活、C 消費生活・環境の大きく分けて3つの項目がある。小学校学習指導要領（平成29年告示）解説の家庭編の衣生活、住生活をあわせた構成にしている。

衣生活

(4) 衣服の着用と手入れ

ア 次のような知識及び技能を身につけること。

(ア) 衣服の主な働きが分かり、季節や状況に応じた日常着の快適な着方について理解すること。

住生活

(6) 快適な住まい方

ア 次のような知識及び技能を身につけること。

(ア) 住まいの主な働きが分かり、季節の変化に合わせた生活の大切さや住まい方について理解すること。

日本は他国とは異なり、四季が存在することで、日本人はそれぞれの季節に合わせた住まい方をしてきた。今単元での学習は私たちが快適に過ごすためにどのような工夫が必要かを学ぶと同時に、過ごし方や衣服の着方の工夫を考え、より快適に過ごすために衣服を清潔に保つことを考えるものである。その中のひとつが洗濯である。その洗濯も衣服の種類によって洗濯の方法が変わることを学習する。

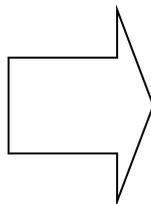
更に、5年生の時に寒い時の暮らしの工夫について学習した「あたたかい着方を工夫しよう」の内容と関連して、「衣服の働き」について涼しい着方、あたたかい着方の両方を学ぶ。また暖かい季節や寒い季節を快適に暮らすための暮らし方についての学習をするなど、家庭科は、私たちの生活する上で必要な知識を習得することが期待できる教材である。

第5学年

C 快適な衣服と住まい

(2) イ 季節の変化に合わせた生活の大切さが分かり、快適な住まい方を工夫できること。

- 自然を生かした住まい方
- あたたかく明るい住まいの工夫



第6学年

C 快適な衣服と住まい

(2) イ 季節の変化に合わせた生活の大切さが分かり、快適な住まい方を工夫できること。

- 自然を生かした住まい方
- 涼しい住まい方の工夫

(2) 指導について

本単元は全4時間で構成する。

単元を通して、知識・理解面における季節に合わせて快適に過ごすためにはどのような工夫があるのか、個々と学級全体で活動を展開する。普段生活する上でより良く過ごすにはどのようなことがあるのか児童の中からアイデアが出て、暮らしに取り入れられることを目指す。個々でなかなかアイデアが浮かばない児童や学級全体で発言が苦手な児童には、グループ学習を通して改善できるように授業の工夫をしていく。

1時間目は、5年生で学習したことと6年生で学習することを関連させた内容になっている。住まいや衣服の着方も暖かい時と寒い時では異なることを見つけるためにグループ学習をしたり、これまでの生活を振り返らせる。

2時間目は、衣服を気持ちよく着るためにはどうすれば良いのか考える。外的・内的環境要因を受けた衣服はどのようになり、清潔に保つためにしなければならないことを考える。その方法として洗濯を例に出す。そして自分で洗濯ができるように洗濯表示の記号や意味についても学習する。

3・4時間目は洗濯の実習である。実際に洗濯表示に従って洗濯をする。

単元を通して、快適に過ごすには住まい方や衣服の着方が関係していることや、洗濯を通して、あまり身近ではない洗濯表示を知ることによって普段当たり前のように着ている衣服それぞれで変わる洗濯の仕方を学習して欲しい。

7. 単元計画

時間	目標 (■) と主な活動 (○)	◎評価の観点 (評価方法)
1	<p>■ 季節に合わせて住まいの工夫や着方の工夫について考えてみよう。</p> <p>○ イラストから違いを見つける。</p> <p>○ 単元に関するクイズを解く。</p> <p>○ 涼しい時とあたたかい時の住まいと衣服の着方について考える。</p>	◎ 涼しい時とあたたかい時で異なる住まいや衣服の着方について理解している。【知識・理解】
2 本時	<p>■ 衣服を気持ちよく着るためにはどうすればよいのだろう。</p> <p>○ 映像から衣服を汚したままの状態でおくとどのようになるのか観察する。</p> <p>○ 洗濯の必要性を知る。</p> <p>○ 洗濯表示の記号と意味について学習する。</p>	◎ 映像から衣服を清潔に着るためにはどのようにすれば良いか読み取ることができる。【思考力・判断力】
3 4	<p>■ 洗濯を体験してみよう。</p> <p>○ 前回学習した洗濯表示を参考に実際に洗濯をする。</p>	◎ 自分で洗濯表示に従って、洗濯をすることができる。【技能】

8. 本時の授業について (2 / 4 時間目)

(1) 本時のねらい

衣服を気持ちよく着るためにはどうすれば良いか考えることができる。【思考】

(2) 本時の展開

時	学習活動 (○)	指導上の留意点 (●) 評価 (◎)
0	<p>1 前回の学習を振り返る。</p> <p>○ 暑い時と寒い時、住まい方や服装の工夫をした。</p>	● 前回の内容を思い出させることができる様に確認をする。
2	<p>2 本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>衣服を気持ちよく着るために必要なことを考えよう。</p> </div>	

8	<p>3 映像を見て洗濯の必要性を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 汚れた衣服を放置しておいたらどのように変化するかを考えて、隣や前後で話し合う。 ○ 映像を見て確認する。 ○ 洗濯の必要性を知る。 ○ めあてより衣服を気持ちよく着るための方法を学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 隣や前後で話し合うように指示をする。 ● 映像から衣服を汚したままの状態でも放置しておくかどうか観察する。 ◎ 映像から衣服を清潔に着るためにはどのようにすれば良いか考えることができる。【思考力・判断力】
12	<p>4 体操服の表示の意味を学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の体操服の洗濯表示を見て、ワークシートに記入をする。 ○ グループ学習をする。 ○ 洗濯表示の記号と意味について学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ノートの記入に個人差があるので、全員書き終わるまで時間を確保する。 ● ノートの記入に個人差があるので、ワークシートを準備しておく。 ● 児童の身近な体操服を取り上げ、捉えやすいようにする。
20	<p>5 他の衣服の洗濯表示についても調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 黒板に掲示しているものの中から使われている洗濯表示を見つける。 <p><例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・セーター 	<ul style="list-style-type: none"> ● 実物を見せてどんなものか予想させることにより、身近に感じやすくさせる。
35	<p>6 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ やってみよう！ <ol style="list-style-type: none"> ①衣服などの汚れはどんな所につきやすいのか考える。 ②オリジナルの洗濯表示をつくってみよう。 ③衣服を気持ちよく着るために、家で洗濯をやってみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本時の振り返りをし、衣服を気持ちよく着るための実践を家庭生活で行なおうとする意欲に繋げる。

(3) 本時における評価規準

十分満足できると判断される 児童の具体例	おおむね満足できると判断さ れる児童の具体例	支援を必要とする児童への指導 の手当て
・衣服を気持ちよく着るために どうすれば良いか自分で考え ることができる。	・他の児童の意見を聞き、 衣服を気持ちよく着るた めにはどうすれば良いか 理解している。	・具体例を出して普段している ことを思い出させるようなア ドバイスをする。